

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 15 日

事業名称		さくらがおか児童館運営事業〔さくらがおか児童館運営事業〕										
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	6	児童館費	事業番号	6	
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	青少年 課 青少年育成 係					課長名	石川 博隆					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 4			
【施策名】 児童福祉の推進								総合計画書 (ページ)	59			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	児童館周辺に在住の0～18歳未満の乳幼児・児童数とその保護者					市内の0～18歳未満の乳幼児・児童数 (令和2年3月1日現在)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	①児童館を利用する児童が遊びや行事を通じて成長できるようにする。 ②乳幼児が安心して遊び保護者同士の交流・情報交換ができるようにする。					①児童の来館者数(延べ人数) ②乳幼児及びその保護者の来館者数(延べ人数) (1)乳幼児 (2)保護者						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	①児童の居場所の提供。児童向け行事の開催。ランドセル来館の実施。 ②乳幼児の遊び場、保護者同士の交流・情報交換の場の提供。乳幼児親子向け行事の開催。1歳・2歳児親子サークルの実施。					①年間実施回数 (1)児童向け行事 (2)ランドセル来館 ②年間実施回数 (1)乳幼児親子向け行事 (2)1歳児親子サークル/2歳児親子サークル						
3 経費	事業費(実績)		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	人	13,737	13,533	13,328						
	成果指標	②の数値	人	①22,910 ②(1)4,640 (2)4,109	①21,646 ②(1)4,424 (2)3,901	①18,715 ②(1)3,362 (2)2,886						
	目標	②の目標値										
3 経費	活動指標		③の数値	回	①(1)43 (2)194 ②(1)22 (2)20/24	①(1)44 (2)193 ②(1)22 (2)18/24	①(1)24 (2)289 ②(1)16 (2)18/22					
	財源	一般財源		円	10,406,273	10,095,559	10,101,030	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
		特定財源		円		1,240,880	2,036,490					
		(うち受益者負担)		円		25,880	21,490					
		所要人数(再任用以外)		人	1.0	1.0	1.0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用)		人								
		職員人件費(再任用以外)		円	8,253,000	8,244,000	8,310,000					
		職員人件費(再任用)		円								
事業費+人件費		円	18,659,273	18,339,559	18,411,030							
4 環境変化等	(1) 開始年度		51 年度									
	(2) 環境の変化		通常の児童館運営の外、学童の待機児童対策の一環として平成20年よりランドセル来館事業を開始し、現在では学童と独立した児童預かり事業としても機能している。 また、子育て支援の必要性が高まり、児童のみならず、乳幼児とその保護者を対象にした子育て支援事業についても取り組んでいる。									

事業名称	さくらがおか児童館運営事業〔さくらがおか児童館運営事業〕			
担当部署・課長名	青少年	課	青少年育成	係 課長名 石川 博隆

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 乳幼児のイベントや遊べるおもちゃが増やしてほしい。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ	取組手法：③行事でのボランティア協力及び講師の活用 ⑧児童館まつりでの図書館との共同企画		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 行事における補佐としてのボランティアだけでなく、行事の講師としても専門的な知識や経験を持った市民を登用する。			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） ・子育てひろばを取り組むにあたり、乳幼児親子に対応できる知識のある職員が一部に限られる。 ・乳幼児とその保護者の利用者数の増加を目指す。キッズルームの環境整備に伴ったホームページのリニューアルが必要。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 ・子育てひろば職員研修や児童厚生員研修を受講し、受講内容を職員間で共有し、事業に取り組んだ。 ・乳幼児事業についてのアンケートを実施し、乳幼児対象事業の充実と改善を図った。乳幼児を持つ親が児童館を身近に感じ、利用しやすいよう環境を整えた。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ・子育てひろば、子育て支援事業の充実のため、引き続き利用しやすいよう環境を整える。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 児童福祉の推進 ☐ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☒ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ・通常の児童館利用児童のほかに、ランドセル来館の利用児童が増加しているため、児童館の子どもを取り巻く環境が変化している。事業内容についても視点を変えた内容に改善する必要がある。 ・子育てひろば、子育て支援事業の充実のため、研修等を積極的に受講する。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・児童館行事について、実績を踏まえながら内容を精査し、行事を実施する。 ・子育てひろば、子育て支援事業の充実のため、研修等を積極的に受講する。			